

受付けは11月30日迄☆

「Wiri (ウィリ)」から会員の皆様へお願い!

前号でご紹介させていただいた、博多事務所の学生団体「Wiri」から会員のみなさまにお願いがあります。今回、メンバーの一人が所属する学校の「チャレンジ助成金制度」に、途上国へ物資支援をする企画で応募したところ、めでたく助成を受けることが決定いたしました。BOPビジネス事業で現在当協会が活動しておりますカンボジアでニーズ調査を行い、現在は各メンバーが支援物資確保の為に奔走中です!

そこで、各会員のみなさまからのお力添えをいただけたらと思っております。集めている支援物資は以下のリストの通りです。もし、ご家庭に使用していないものがありましたら当協会までお送り下さい! 責任を持って支援先へ届けます。
※現地のニーズに沿った物を支援するため、下記のリスト以外のもは受付けられません。どうぞ宜しくお願いします。

衣類(洗濯済みのもの)	文房具	実験用具
・T-シャツ	・ボールペン	・カバーガラス
・使わなくなった体育館シューズ	・鉛筆	・顕微鏡
	・ノート	・虫眼鏡
	・定規 & コンパスセット	・スライドガラス
		・ピンセットなどの実験器具
		・カラー資料集(理科系の物)



事務局よりみなさまへご挨拶

記録的な猛暑が去り、素晴らしい季節になり会員の皆様は如何過ごしてでしょうか。これらよいよ紅葉が深まり、ドングリが実を落とす季節になります。これらのドングリ。コロコロ転がって運が良ければ来年元気な芽を出します。そしてさらに運に恵まれれば、そのうちの一本がいつか母木のように、成木になり実を付けるでしょう。こんなドングリを見て感じたことなのですが、自然界は太古から途切れることなく脈々として今の自然に繋がっています。親から子へ、子から孫の世代へときっちりバトンタッチをしています。しかし、私達はどうか、ウォシュレットやスマートフォンのように便利な家電が溢れ、それらの存在が当然になってしまいました。私たちはこのように快適で安全な環境で、大自然のドングリのように、子や孫の世代に大切な事を繋いでいるのでしょうか。先月来た16名のアフリカ研修員の方々と行動を共にし、生きる力、繋ぐ事の大切さを感じました。今期も多くの事を教えてくれる素晴らしい秋と共に職員一同精進致します。



九州海外協力協会 事務局長 丸田



特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館
2F AB号室
TEL: 092-415-6536
E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

平成25年度秋募集説明会開催中です☆

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア/シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア

10月1日より平成25年度JICAボランティア秋募集が始まっております。今回は会場数が若干増えており、各県の県庁所在地以外でも実施をしております。いま原稿を書いている時点では、参集者の数は微増といったところでしょうか。福岡県の1回目はアクロス福岡で9/27に行いましたが、青年の方が82名、シニアの方が43名と、いつもよりも多くの方が集まっております。また、10/19の八代での説明会では「MARY AND MARTHA」というアフリカでマリア撲滅のために立ち上がった二人の母親を主人公とした、日本未公開の映画上映を行います。お近くにお住まいの方には是非ご来場いただきたいと思っております。

これから10月27日の北九州での説明会まで、残り2週間近くとなりましたが、スタッフ一同頑張っていきたいと思っておりますので、各県の皆様にもおかれましては、どうぞ宜しくお願い致します。



九州各県の説明会日程は以下のアドレスより確認下さい!

体験談&説明会 九州各県会場一覧
<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/seminar/area/kyushu/>



《編集後記》
 インターンシップで受入れた学生達が何やら自分たちで出来る国際協力をしようと頑張っております。私たちとしては、サポートしながらあまり口出しせず、彼らの試行錯誤を見守りたいと思っております。みなさまからのご協力がいただければ幸いです。

発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会
 〒812-0011
 福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館 2F AB号室
 TEL: 092-415-6536
 FAX: 092-415-6518
 HP: <http://www.joca-kyushu.or.jp/>
 E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp



NPO JOCA Kyushu 会員募集中

当会の活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には「JOCA Kyushuだより」を送付するほか、当会主催、共催のイベント情報をご案内させていただきます。
 ※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

JOCA Kyushu ブログ

週に3度スタッフが協力隊時代の話や活動の話を記しております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。コメントもお待ちしております!
 URL: <http://www.joca-kyushu.or.jp/>

平成25年度 夏季インターンシップ



毎年恒例のインターンシップ生受入れですが、この夏も博多と八幡で4名ずつ参加してもらいました。一般企業とは違った性質を持つ当協会での経験が、それぞれの進路選択の一助となることを願って☆

お忙しい中、インターンシップとして受け入れていただき、本当にありがとうございました。10日間という短い期間でしたが、とても楽しかったです。ひとつひとつの仕事が新しいことばかりで、ひとつの資料を作るにしても使う人の気持ちなどを考えながら作成することを心がけ、たくさんの方を学ぶことができました。職員の皆さんの協力隊でのお話や仕事の話にも多くの刺激を受けました。アフリカの方とも交流する機会があり、本当に楽しかったです。また、英語力やその他の言語の必要性などもっと自分に必要なものに気づくことができました。本当に世話になりました。ありがとうございました。

西南学院大学 商学部経営科 村里 咲良

私は三日間八幡事務所のほうで活動していたので博多事務所でも活動させていただいたのは実質四日間なのですが、丸田さん、武井さん、田中さん、河野さんにははるご親切にさせていただいて本当に感謝の気持ちでいっぱいです。とくに河野さんにははるご世話になりました。私は経験が少なく、分からないことがたくさんあったのですが、すべて丁寧に教えてくれました。それから、お昼の時間にいろいろな話を聞くことができよかったです。このインターンシップで多くのことを学ぶことができました。皆さんからいろいろな話をお聞きして考える視野が広がりました。本当に九州海外協力協会の博多事務所にインターン生としてくることができよかったです。

I never forget this experience and a lot of fun. This experience is special memory.

福岡女学院大学 短期大学部英語科 薬師寺 杏里

職員の方々と仕事し、楽しい企画作成などの時間を共有することができ、有意義なインターンシップを体験することができました。職員の方には私の指導に時間を割いていただいたことを心から感謝します。

西南女学院大学 人文学部英語学科 金山真嬉

私はインターンシップを通して、国際協力、国際交流の現場で働くということについて多くのことを学びました。10日間の中でたくさんの新しい経験をし、これまで知らなかった新しい自分を見つけることもできました。この貴重な経験を必ず今後の就職活動に生かしていきたいと思えます。

北九州市立大学 外国語学部国際関係学科 野田博子



短い期間でしたが、本当にお世話になりました。インターン期間が、運よく青年研修の期間と重なり、アフリカの研修員の方と接する機会が多かったです。その交流の中で、コミュニケーションをとることの大切さ、楽しさを実感しました。研修内容自体も興味深く、日本とアフリカの教育について初めて知ることたくさんありました。この貴重な体験を忘れず、これから活かしていきます。これほど楽しく過ごせたのは、職員の方々が優しく接してくださったからだと思えます。お忙しい中インターン生として受け入れていただき、ありがとうございました。

北九州市立大学 外国語学部中国学科 森永美佳

初めはとても緊張しましたが、事務所の皆さんがとても親切で、わからないことなども優しく指導して下さいのおかげで、次第に緊張が解け、最後まで楽しく仕事をさせて頂くことができました。一週目には北九州のほうで「夏の教室」のお手伝いをさせて頂き、それぞれ色々な国で活動を行った方々のお話などが聞け、自分の興味ある分野でとても勉強になりました。博多事務所の方では、プレゼンテーションを作成したり、マラリア映画を見てマラリアについて考えたり、お昼休みにも様々な話題を皆さんで共有し話し合ったりと、とても充実し、楽しみ、そして多くのことを学びながら毎日過ごすことができました。今後も世界に目を向け、もっと多くのことを学び、考えていこうと思えます。短い期間でしたが本当にお世話になりました。ありがとうございました。

福岡大学 人文学部東アジア地域言語学科 緒方亜由美

大変お世話になりました。これから社会に入っていく自分を見つめ直すことができました。一歩前に行くことによってさらに自分自身を高めることができると思えます。その勇気をいただきました。ありがとうございました。

九州国際大学 国際関係学部国際関係学科 田嶋 彩夏

7日間という短い期間でしたが、普段とは違う経験ができ、とても思い出に残る一週間でした！毎日、勉強になり、自分のやりたいことが再確認できた期間にもなりました。笑いあり、緊張あり、とても楽しかったです。お世話になりました！！

久留米大学 経済学部経済学科 四辻真由紀



UNICA presents お月見会 at JICA九州

先月久しぶりにUNICAのイベントがあり、お月見をテーマに研修員と一緒に書道をしたり白玉を作ったりして交流をしました。一見簡単そうに見える書道を実際にやってみて戸惑っている研修員もいましたが回数をこなすうちにだんだん上手になっていき、みんな夢中になっていました。

白玉作りは中国人の研修員が中心になって行いました。自分の好きな大きさの白玉を作っている姿は微笑ましかったです。砂糖をたっぷり加えたきな粉で食べるのはとても美味しくたくさん作った白玉はあっという間になくなりました。白玉を食べながら中国人の研修員が歌を歌ったりお祭りのお話で盛り上がりたりと和やかな雰囲気でした。イベントは時間通りに終わり、大成功でした。さっそく11月に次のイベントを企画しています。次回はどんな交流になるのか楽しみです。

(UNICA 徳増)



国際ボランティアワークキャンプ in ASO

今年で8回目になるこのワークキャンプは、高校生の実行委員が昨年11月より企画、計画を始め「∞(無限大)の可能性 私たちは進化し続ける」をテーマに、高校生80名、留学生30名が集い、熱く語り合いました！たくさんの分科会がある中、私は「教育」分科会に参加し、カンボジアの教育についてお話ししてきました。カンボジアの教育以外にもフィリピンやドイツなどさまざまな国の教育制度を学び、日本と比べてどうか？理想の教育とは何だろう・・・と高校生は真剣に議論を重ねていました。理想の教育についてというテーマはとても難しく、正解はないと思えます。ですが、高校生が普段何気なく受けている「教育」について考えることが重要で大切なことだと感じた1日でした。実行委員のみなさん、本当にお疲れ様でした！また来年、お会いしましょう！

(河野)



続「命の水プロジェクト」

8月5日より約3週間、プロジェクトサイトであるアンコールクラウ村の全体調査をしてきました。各世帯についての全体的な事から、もちろん「水」に関することまで、インタビューしながら簡易な地図も作成しました。毎日アンコールワットの前を通り過ぎ、寄ることもなく村に通い続け、目視も含めチェックした戸数は約300戸、100名の方にインタビューを行いました。

現地を足で回って直接インタビューしていくと、水に関するニーズの高さがうかがえました。特に住民の方が困っていたのは水の「鉄サビ臭」でした。見た目はほとんど問題なく、私たちがからしてもキレイなのですが、サビの臭いがとても強く、バケツに1日置いておくだけで、バケツが赤茶色になってしまう程です。

現在は、この情報を元に水質分析チームが現地を調査しており、設置する浄化装置の仕様を検討しています。地道にコツコツ、現地の人の笑顔を増やすためにより良いプロジェクトにしていけたらと思っています。つづきはまた次号で...

(田中)



わっしょい百万夏祭り

JICA九州は今年も北九州最大規模のお祭り、「わっしょい百万夏まつり」に参加しました！8月の第1週の土日におこなわれるこの祭りには、初回より参加し続けているという歴史があります。当日はJICA研修員全員で結団式を行い、会場へ向かいます。今年は26回目の参加ということで、「振興会会長賞」を受賞しました。消火技術研修の代表、パラオから来た研修員TAKADA Kazuma氏がトロフィーを受け取ってくれました！

8月の熱気の中、気合十分の祭り参加の様子には、宗教も、言葉も、国境もなく、「みんなで楽しもう！！」という気持ちだけがありました。来年もJICA九州は「わっしょい」に参加します！！お楽しみに・・・。

(米村)

